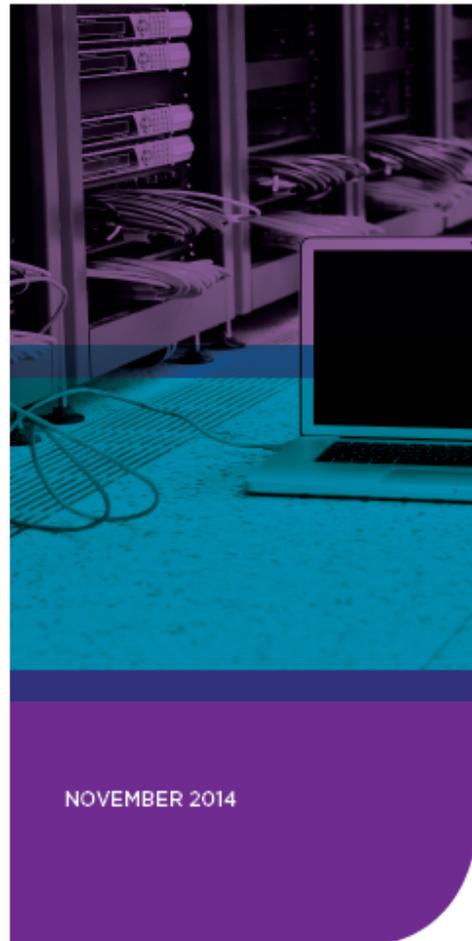


第5回 - クラウドコンピューティングの動向調査 Nov. 2014 (抜粋)

5th Annual Trends in Cloud Computing



NOVEMBER 2014

調査について

CompTIA の「第 5 回クラウドコンピューティングの動向調査」は、前回実施したクラウドコンピューティングの現状、傾向、課題、機会の調査をさらに掘り下げるため実施されました。

本調査における目的は以下の通りです。

- エンドユーザーの購入動機および阻害要素に関する情報収集
- クラウド使用の把握と、IT に与える変化
- エンドユーザー間の導入パターンとチャンネルビジネスモデルの位置づけ
- クラウドソリューション提供や、クラウドプラクティスを構築するチャンネルパートナーの認識
- チャンネルの役割/ベンダーとの関係に与えるクラウドコンピューティングの影響

本調査は 6 つのセクションに分かれます。

セクション 1：市場概要

セクション 2：使用パターン

セクション 3：課題

セクション 4：ビジネスのモデル分析

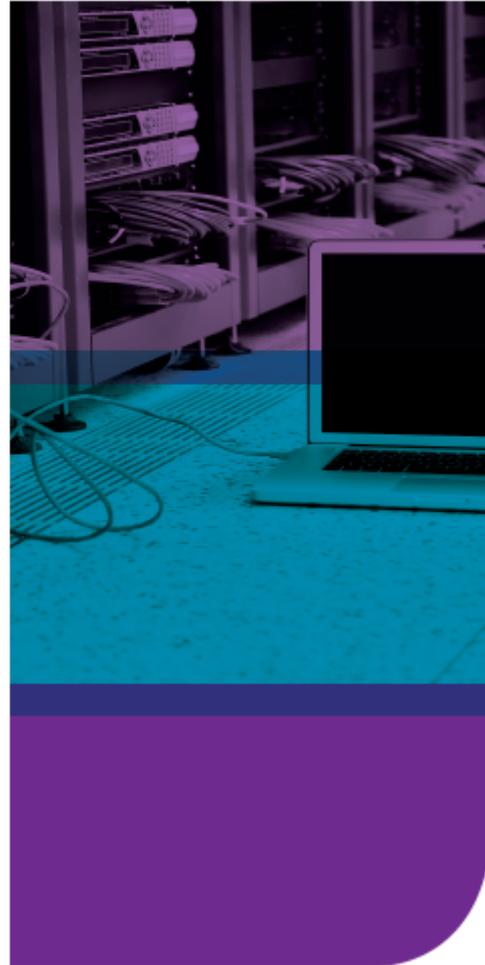
セクション 5：チャンネルダイナミクス

CompTIA 米国本部実施の本調査は、IT に関する意思決定を実施する 400 の IT ビジネスプロフェッショナル（エンドユーザー）と、400 の IT 企業それぞれ対象としたオンライン調査結果から作成されました。データは 2014 年 6 月に集計されています。

セクション 1 : 市場概要

SECTION 1:

Market Overview



所見

- CompTIA が調査を行ってきた 5 年間で、クラウドコンピューティングは「変革をもたらすもの」から、現代 IT の「必須要素」にシフトしました。IDC は、2013 年にパブリッククラウド市場は、\$45.7 ビリオンであったと報告し、2018 年までの年平均成長率は 23% となると予測しました。プライベートクラウドにおいては、ホステッドプライベートクラウドサービスのワールドワイドの支出が 2016 年までに \$24 ビリオンを上回ると予測しています。
- チャネル企業とエンドユーザーは、クラウド対応のインフラストラクチャやソリューションに移行したことで混乱に直面しています。チャネル企業の 41 パーセントは、クラウドを、ビジネス転換が伴う新たな方向性の「きっかけ」であると言及しています。US 企業の 90% 以上が、何らかの形でクラウドコンピューティングを活用していて、そのうち 60% が、クラウドコンポーネントは、IT アーキテクチャ全体における 3 分の 1 を占めるといいます。
- 高い導入率、市場価値はポジティブですが、クラウドコンピューティングに関連した混乱が生じています。調査参加のクラウドユーザーの 28% は、プライベート、パブリッククラウドどちらのモデルも使用しておらず、クラウドモデルに対する認識の欠如や、専門用語に関する混乱を指摘しています。

クラウドマーケット市場を予測する

クラウドコンピューティングが、多くの IT サービスのプラットフォームに前進したことで、市場での見方にも変化が起きました。普及当初、分析会社の多くはクラウドコンピューティングをシングルエンティティ（単一体）として扱っていました。CompTIA の第 1 回目の調査でも、クラウド全体の収益は 2008 年の \$46.4 ビリオンから 2013 年には \$150 ビリオンに成長するという Gartner の予測が含まれています。唯一内訳されていたのは、サービスモデル（SaaS、PaaS、IaaS）のみです。当時 IDC は、SaaS 市場は 2014 年までに \$40.5 ビリオンに達すると予測していました。

2 年後、それら予測は顕著なプログレスを見せます。Gartner の予測データには、サービスモデルがデフォルトで設定されるようになります。2015 年の予測では、SaaS-\$22.1 ビリオン、PaaS-\$1.8 ビリオン、IaaS-\$22 ビリオンとなっています。これらの予測のトータル値 \$45.9 ビリオンは、Gartner が昨年予測した数字を 17 パーセント上回る結果となっています。

さらに、Gartner はクラウド収益に二つのカテゴリを使用しました。一つは、ビジネスプロセスアズアサービス（BPaaS）で、クラウドコンピューティングのための直接投資（データセンター/ネットワークアップグレードなど）とクラウドコンポーネントを使い構築されたプロセス（支払い給与や経費管理）が含まれます。二つ目は、クラウドマネージメント&セキュリティで、クラウドリソースの使用に関する特定のサービスとなります。これらカテゴリは、Gartner の 2016 年のクラウド予測 \$207 ビリオンの 70% 以上を占めます。

最近では、クラウドから生じるアクティビティのフルセットを網羅するような推定値は非常に稀で、ほと

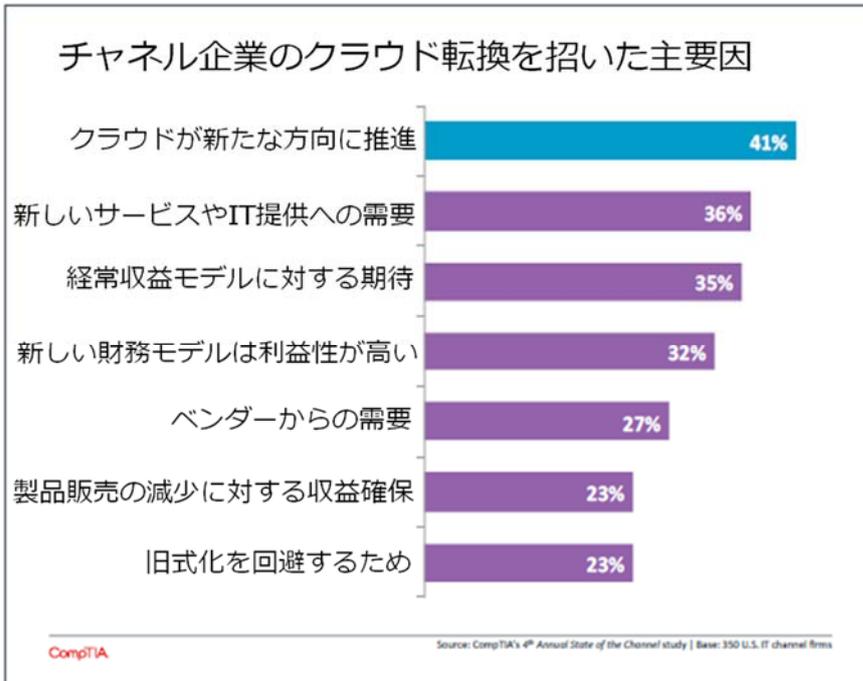
んどの場合、サービスモデル、配置・展開モデル、ビジネスプロセスなどに内訳されます。

- IDC は、ワールドワイドのパブリッククラウドサービス市場を 2013 年に\$45.7 ビリオンに成長すると予測し、2018 年までの年平均成長率は 23%としています。その内訳は SaaS (\$32.9 ビリオン)、PaaS (\$6.4 ビリオン)、IaaS (\$6.4 ビリオン) となります。IDC はまたスタンドアローンセグメントとして好調なセカンダリ市場（流通市場）を特定しています。
- プライベートクラウドに関して、IDC は、ホステッドプライベートクラウドサービスに対するワールドワイド投資額が、2016 年までに\$2.4 ビリオンを越えると予測しています。これには、専有形プライベートクラウド（dedicated）と仮想プライベートクラウドが含まれます。
- 多種多様なクラウドに関連したセグメントは、それぞれの市場で成熟しています。Infonetics Research では、マネージドクラウドセキュリティ市場は 2017 年の平均成長率を 11%とし、その利益は\$9.2 ビリオンになると予測しています。Technavio は、クラウドシステム管理ソフトの市場を 2013 年から 2018 年にかけて平均成長率 33%と予測。MarketsandMarkets は、クラウドアナリティクス市場は 2018 年までに\$16.5 ビリオンを生むと確信しています。これらの領域は、企業がより多くのクラウド技術を導入したことで非常に大きなチャンスとなりつつあります。

5 年が経過した今、業界では「クラウド市場」全般を語ることは困難な域に達しています。クラウドを基盤とした提供サービスの幅は広がり、多くの企業はクラウドを前進させ、クラウドコンポーネントを前提とした戦略を検討しています。

ビジネスの転換

クラウドの出現により、チャネル企業からエンドユーザーまで多くの企業がビジネス全体のオペレーションに抜本的な変化を迎えています。



今日の IT チャネル企業は、他の産業と連動しビジネスの転換を迎えています。その背景には、顧客の IT 製品やサービスの購入方法に見られる変化や、新しいタイプの競争相手の出現、クラウドコンピューティングやモビリティの前進といったトリガーとなる要因があります。事実、チャネルは、製品のリセラー（とりわけハードウェア）から、多面的な製品やサービスプロバイダーに変貌を遂げています。その多くは、自社のビジネスモデルをシフト、少なくともハイブリットなアプローチにシフトしていくでしょう。ハイブリッドアプローチとは、製品ベースの収益源に並行してサービスコンポーネントを加えることをいいます。

ビジネス変換のパスに向かうチャネル企業にとって、クラウドは主な推進力となっています。CompTIA の第 4 回目のチャネル動向調査では、10 企業のうち 4 社が、クラウドが新しい方向に推進した主要因であると回答していました。また、クラウドの影響は企業規模に関わらず広がっています。調査では半数の企業が、将来のチャネル企業には、クラウドの専門知識の習得が「非常に重要」と回答していました。また同時に、マネージドサービスの着手、サービスの販売に精通することが重要と回答しています。

チャネル企業は、クラウドコンピューティングがもたらした変化に対応しながらもそれぞれに適したビジネスモデルを模索しています。クラウドビジネスモデルの広域な導入は、チャネルの構造そのものに変化を与えるだけでなく、将来の導入プランにも影響を与えるものとなります。

ビジネスモデルの変化は、クラウド導入の各フェーズにおいてエンドユーザーが直面する課題となって現れます。クラウドコンピューティングは、米国企業 90%以上が何らかの形で導入しているように、大規模な導入フェーズに移行したとされています。これら企業の 60%以上が、クラウドコンポーネントは IT アーキテクチャ全体の少なくとも 3 分の 1 を占めるといいます。おそらくソフトウェアがいち早くクラウドベースとなった物といえるでしょう。Gartner は、エンタープライズソフトウェア市場は 2014 年に \$320 ビリオンに達すると予測し、SaaS から成る市場は \$22 ビリオンで、全体のわずか 6.9% に留まります。

2011 年 CompTIA 調査では、中規模企業は、小規模または大規模企業よりもクラウドを活用しているというデータがありましたが、この動向は今日証明されました。中規模企業は、大規模企業と同等の導入率を持ちますが、クラウドベースアーキテクチャに関しては、中規模企業が高い割合で導入しています。

